



出典：ふやさないのも愛（環境省）をもとに作成

- 1 全国の保健所等で殺処分された猫の頭数は約6,900頭（令和5年度）
 - 2 猫を捨てることは犯罪です（動物の愛護及び管理に関する法律第44条）
 - 3 メスの子猫は生後4～12ヶ月で繁殖できるようになります
 - 4 猫は人と暮らすように変化した動物で、自然に生きる野生動物ではありません
 - 5 猫は1回の出産で1～8頭ほどの子猫を産み、1年に2～3回出産が可能です
 - 6 1頭のメス猫から1年間で20頭以上、2年で80頭以上に増えることが可能です
 - 7 猫が増えすぎることでさまざまな問題が起きています（糞尿や鳴き声などによる住民トラブルなど）
 - 8 餌を与えるだけで不妊去勢をしないと、猫は爆発的に増えてしまいます
- 町では地域猫活動を推進し、生活環境の向上を進めています！



猫は室内で飼いましょう

屋外には危険がいっぱい！

飼い猫を外に出している飼い主は、これらの危険にさらしていることを忘れてはいけません。飼い猫がこれらの危険に遭遇した場合には、命を落としてしまうかもしれません。



住民の生活環境に関わる課題

- 1 自宅敷地等での糞尿被害や子猫の出産
- 2 猫同士によるケンカや発情期による鳴き声
- 3 地域での猫の過剰繁殖
- 4 路上死（ロードキル）



エサやりに責任を持ちましょう

猫にエサを与えると、その猫の命への責任が生まれます。地域の理解を得て、人も猫も気持ちよく快適に暮らせるようにしましょう。

愛情を持って接しましょう

- ・ フンの管理（トイレ設置・清掃）
- ・ 置きエサをしない
- ・ TNRをおこなう

人にも猫にもTNRが必要な理由

ネコの命を守る視点

1. 子猫の事故や感染症などによる不幸の連鎖を止めます
2. 感染リスクを大幅に減らす「予防医療」
3. 発情中の鳴き声や食欲低下などの軽減

生活環境を守る視点

1. 鳴き声・尿臭・ごみ荒らしが大幅に軽減
2. TNRは猫の数の抑制にもなります

○お問い合わせ 産業課 くらし環境係 ☎(84)2582(直通)